

1. 各章の抜粋

第13章 刀、武士の魂

- ・武士にとって、腰の刀は忠義と名誉の象徴である。
- ・武士道は、刀を適切に使うことを大いに重んじ、その乱用を戒め、嫌悪した。
- ・武士道の究極の理想は、平和にある。

第14章 女性の教育と地位

- ・日本人の間に貞操観念が無いという誤解があるが、貞操観念こそが武士の女性の第一の美德である。
- ・武士道の全教訓は自己犠牲の精神が隅々まで浸透しており、それは女性だけでなく男性にも要求された。
- ・日本人は妻を「荊妻」などと呼んでいるから、妻は軽蔑され尊敬されていないという誤解。自分の妻を褒めるのは自分自身の一部をほめるのと同じこと。日本人にとって自賛は控えめに述べた場合でも悪趣味。

第15章 武士道の影響

- ・過去の日本は武士の賜物である。民衆に道徳的基準を示し、その模範となって導いた。
武士は日本民族の理想の極致となった。
- ・武士道精神は、全ての社会階級に浸透。

第16章 武士道はまだ生きているか

- ・武士道は無意識のうちにも抗しがたい力となり、国民そして各個人を動かしてきた。
- ・キリスト教伝道が、新日本の性格形成に貢献した点はほとんど見られない。
- ・近代日本の建設者達の思索および行動は、武士道によっている。
- ・日本の変化をもたらした動因は、国民自身の中にあり、その源泉は武士道である。
劣等国と見下されることを容認できない名誉の感覚。それこそが最も強い動機であった。
- ・キリスト教は「古い古い物語」である。それゆえもし分かりやすい言葉でそれが提供されるなら、人種や国籍とは関係なく、彼らの心にたやすく届くことができるだろう。
- ・ハワイでなら可能かもしれない戦闘的教会による乱暴な方法は、日本においては断じて不可能である。

第17章 武士道の未来

- ・ヨーロッパの騎士道と日本の武士道ほど、歴史的比較が適切にできる関係はまれである。
- ・騎士道が封建制から引き離された時、教会に扶助されて新たな余命を保ったのに対し、日本においては、どの宗教も武士道を扶助することができるほど大きくはなかった。
- ・勢力を増すデモクラシーの大きな潮流だけでも、武士道の名残を呑み込んでしまう力がある。
- ・1870年に出た廃藩置県の詔勅が、武士道の弔鐘を鳴らす合図だった。
- ・武士道は体系としては死んだが、美德としては生きている。
- ・武士道は独立した倫理の掟としては消えるかもしれない。
しかしその力はこの地上から滅び去ることはないだろう。

2. 感想／ディスカッションしたい点

- ・ 武士道は現代に生きているか？

3. 参考資料

1) 年表

西暦	元号	年齢	新渡戸稲造	日本	世界
1861					アメリカ 南北戦争
1862	文久2年	0	南部藩士(岩手県盛岡市)の子として誕生	生麦事件	
1867	慶応3年	5		大政奉還	
1868	明治元年	6		戊辰戦争	
1870					普仏戦争
1871	明治4年	9		岩倉使節団派遣	
1877	明治10年	15	札幌農学校に二期生として入学	西南戦争	
1884	明治17年	22	アメリカに留学 ジョーンズ・ホプキンス大に入学	秩父事件	清仏戦争
1886	明治19年	24	クエーカー教徒 メリーと出会う	帝国大学創立	
1891	明治24年	29	アメリカ人 メリー・エルキントンと結婚		
1898					フィリピン 米西(スペイン)戦争
1894	明治27年	32		日清戦争	
1899	明治32年	37	『武士道』出版		
1901	明治34年	39	台湾総督府に技師として赴任	八幡製鉄所開設	
1902				日英同盟	
1903	明治36年	41	京都帝国大学法科大学教授兼任		
1904	明治37年	42		日露戦争	
1906	明治39年	44	東京帝国大学農学部教授兼任		
1910				韓国併合	
1911	明治40年	45		日米通商航海条約締結	
1912	明治45年	50		乃木希典夫妻殉死	清朝終焉 中華民国成立
1914					第一次世界大戦
1917					ロシア革命 ソビエト政権樹立
1920	大正9年	58	国際連盟事務次長に就任	国際連盟に常任理事国として参加	
1923				関東大震災	
1926	大正15年	65	国際連盟事務次長を退任。貴族院議員に。		
1928	昭和3年	67	東京女子経済専門学校(後の新渡戸文化短期大学)の初代校長に就任		
1929					米発世界恐慌
1933	昭和8年	71	カナダ ピクトリア市にして客死	国際連盟脱退	ドイツ ヒットラー首相就任

参考ウェブサイト:

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%B0%E6%B8%A1%E6%88%B8%E7%A8%B2%E9%80%A0>
<http://meiji.sakanouenokumo.jp/>
http://mononofu.sakura.ne.jp/modules/pico2/index.php?content_id=1
http://www.nitobeunika.ac.jp/morimoto_gakuen/nitobe_index.php

2) 旧 5 千円札 (1984 年～2007 年)



3) 学校法人 新渡戸文化学園

「先生は、かねてから日本における女子教育の改善を考えていました。その精神を受け継ぐ愛弟子の森本厚吉先生を援けようと決意、本校の初代校長に就任されました。」 同学園ホームページより